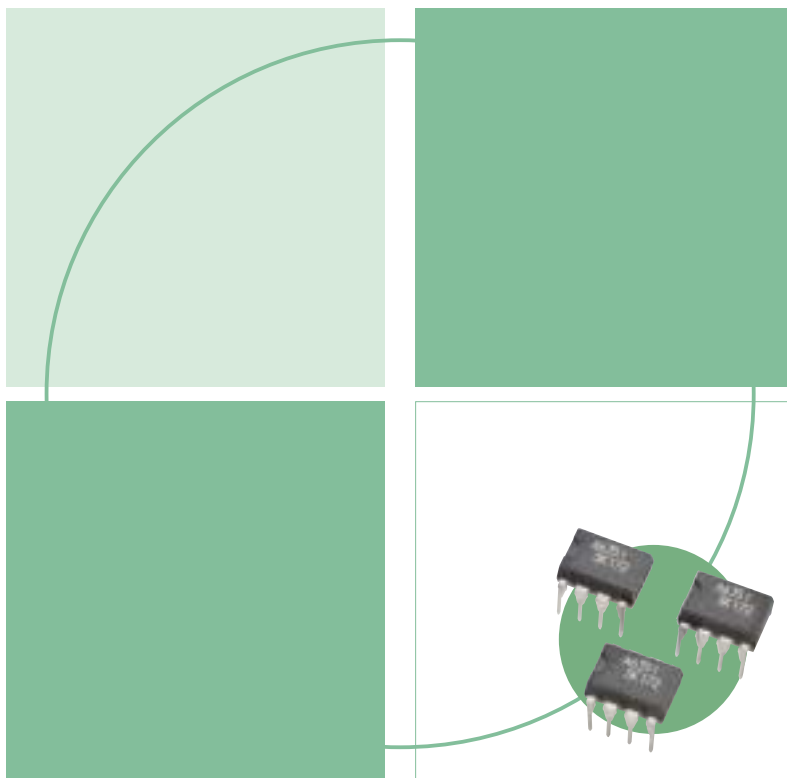


第85期中間事業報告書

(平成13年4月1日～平成13年9月30日)



サンケン電気株式会社

株主の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社第85期上半期の営業概況につきご報告申し上げます。

当期の概況

当上半期における日本経済は、IT関連産業を中心に企業業績の悪化が急速に進み、個人消費も景気の先行き不安や厳しい雇用情勢を反映して停滞するなど、景気低迷の度を一段と深めました。また海外におきましても、米国経済の冷え込みがアジア・欧州経済にも波及し、世界的な景気低迷の連鎖が広がりました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界は、AV・情報通信機器市場における需要が在庫調整の進展と相まって前期後半より引き続き低迷したほか、OA機器市場におきましても急激な失速を見せるなど、市況が悪化しました。

こうした厳しい状況のなか、当社グループは売上確保に向け積極的な販売展開を行い、新市場への取り組み強化、新製品の投入等により一定の成果を上げることができましたものの、主力のAV・OA向けをはじめ各市場の大幅な需要減退に

より国内販売、輸出とも不振のうちに経過いたしました。

この結果、当上半期の連結売上高は、709億56百万円（前年同期749億34百万円）と前年同期に比べ減収となりました。また損益面につきましては、売上が伸び悩むなか、利益の確保を図るべくグループを挙げて固定費の圧縮をはじめ経費の削減に努め、経常利益22億59百万円（前年同期23億18百万円）を計上いたしました。中間純利益につきましては、時価会計基準による有価証券評価損（21億19百万円）を特別損失として処理したことなどにより、2億44百万円（前年同期中間純損失16億66百万円）となりました。

株主の皆様へ

日本経済は、企業の業績悪化や設備投資の抑制、個人消費の停滞などにより依



取締役社長

森田雄次

然として景気低迷が続くものと予想され、市況の早期回復は望めないものと思われまます。また海外経済におきましても、米国同時多発テロ事件の影響も加わり世界的な景気後退への不安が広がりがつあります。

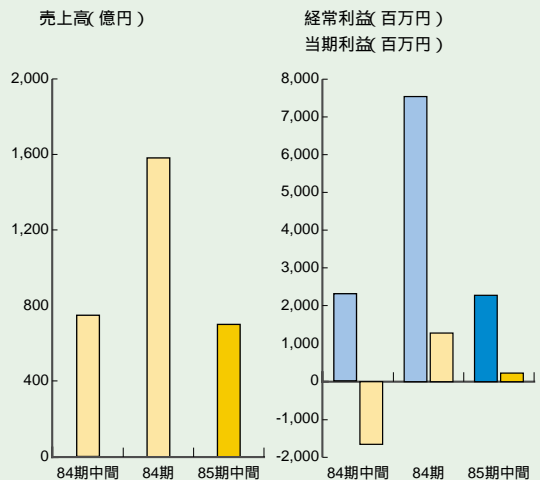
今後につきましては、市況の動向にかかわらず安定した収益を確保し得る経営体質への改善を図るべく、生産拠点の再編、遊休資産の整理など経営資源の選択と集中に注力するほか、生産・開発リードタイムの短縮、徹底したコスト低減など、グループを挙げて中期経営計画に掲げた基本戦略の達成に向け邁進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績の推移

(百万円)

	第84期中間	第84期期末	第85期中間
売上高	74,934	158,710	70,956
経常利益	2,318	7,585	2,259
中間(当期)純利益 [は純損失]	1,666	1,294	244
1株当たり中間(当期)純利益 [単位:円 是純損失]	13.18	10.24	1.95
総資産	171,210	175,558	161,048
株主資本	56,119	59,400	58,311

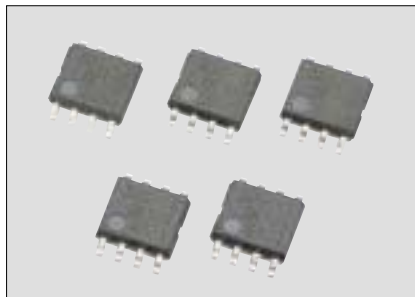


半導体事業

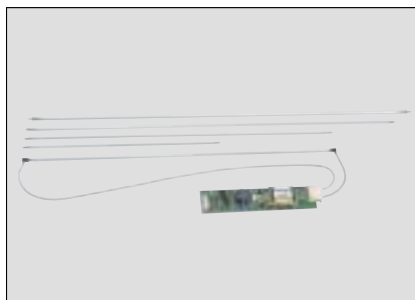
売上高は、494億86百万円と前年同期に比べ34億83百万円（6.6%）の減少となりました。

ハイブリッドICは、AV・OA機器市場向けの売上が国内外ともに低迷いたしました。電装品および白物家電向け製品が引き続き順調な推移を示したほか、デジタルオーディオ向け新製品による下支え効果もあり、前年同期実績を上回る売上を確保することができました。しかしながら、ダイオードおよびトランジスタは、AV・OA機器市場の冷え込みに加えて、価格競争の激化等により売上の減少を余儀なくされました。また発光ダイオードにつきましても、設備投資の抑制から主要市場である屋外用表示装置向けの需要が急減し大きく売上を落とす結果となりました。一方、冷陰極蛍光放電管は、テレビ・パソコン用モニターの液晶化への移行に伴う需要拡大にあわせ、新製品を投入するなど着実に市場ニーズをとらえ、堅調な売上を維持することができました。

また、在外子会社アレグロ マイクロシステムズ インクは、OA機器向け製品の売上が伸び悩むなか、経営改善策の実施により、利益を確保いたしました。



パソコン、DVD、ゲーム機用
面実装型ドロップレギュレータIC SI-3000KS



液晶バックライト用冷陰極蛍光放電管およびインバータ

電子事業

売上高は、113億28百万円と前年同期に比べ10億29百万円(8.3%)の減少となりました。

スイッチング電源は、主力のデジタル複写機およびプリンター向けの需要が一段の生産調整の影響も重なり上半期期央から急減した上、産業機器向け製品も低迷したことなどから大きく売上が減少いたしました。またノートパソコン・液晶ディスプレイ向けのACアダプタにつきましては、概して堅調な推移を見せましたが、売上を伸ばすまでには至りませんでした。

在外子会社のうち、ピーティー サンケン インドネシアは、主力のOA機器市場が低迷し、生産の減少により収益の大幅な悪化を招きました。一方、サンケン パワーシステムズ(ユークー)リミテッドは、モーターコントロールボードの販売増と経費削減により、採算性の改善が進みました。

電源機器事業

売上高は、101億41百万円と前年同期に比べ5億35百万円(5.6%)の増加となりました。

当事業の売上のほぼ7割を占めるカスタム電源装置は、通信設備用電源が第三世代携帯電話の基地局向けに需要の大幅な伸びを示し、売上拡大に大きく寄与いたしました。一方、汎用電源装置は、汎用VVVFインバータの中国向け輸出が堅調な売上増加を確保いたしましたものの、主力製品である汎用UPSがIT不況や価格競争の激化の影響を受け売上を減少させました。



汎用スイッチング電源 PCUシリーズ



ラックマウント汎用UPS

中間連結貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

(百万円)

資産の部	
流動資産	92,852
現金・預金	10,992
受取手形・売掛金	34,827
棚卸資産	41,157
短期繰延税金資産	2,171
その他	3,808
貸倒引当金	104
固定資産	68,195
(有形固定資産)	(57,896)
建物及び構築物	21,012
機械装置及び運搬具	22,750
工具器具備品	2,471
土地	4,340
建設仮勘定	7,320
(無形固定資産)	(1,386)
ソフトウェア	460
その他	925
(投資その他の資産)	(8,912)
投資有価証券	5,262
長期繰延税金資産	1,900
その他	1,749
貸倒引当金	0
資産合計	161,048

負債の部	
流動負債	45,890
支払手形・買掛金	22,599
短期借入金	13,997
未払費用	7,470
未払法人税等	150
短期繰延税金負債	12
その他	1,661
固定負債	56,641
社債	20,000
転換社債	9,998
長期借入金	19,679
長期繰延税金負債	18
退職給付引当金	6,433
役員退職慰労引当金	352
その他	159
負債合計	102,532
少数株主持分	
少数株主持分	204
資本の部	
資本金	20,881
資本準備金	21,103
連結剰余金	18,514
為替換算調整勘定	1,529
計	58,970
その他有価証券評価差額金	657
自己株式	1
資本合計	58,311
負債、少数株主持分及び資本合計	161,048

中間連結損益及び剰余金結合計算書

(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)

(百万円)

売上高	70,956
売上原価	56,662
売上総利益	14,293
販売費及び一般管理費	10,488
営業利益	3,804
営業外収益	342
営業外費用	1,887
経常利益	2,259
特別利益	68
国庫補助金等収入	67
貸倒引当金戻入益	1
特別損失	2,180
固定資産処分損	47
投資有価証券評価損	2,119
その他特別損失	12
税金等調整前中間純利益	147
法人税、住民税及び事業税	325
法人税等調整額	85
過年度未払法人税等戻入額	529
少数株主利益	21
中間純利益	244
連結剰余金期首残高	18,986
連結剰余金期首残高	18,986
連結剰余金減少高	715
配当金	627
自己株式消却額	88
連結剰余金中間期末残高	18,514

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)

(百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	147
減価償却費	5,107
投資有価証券評価損	2,119
退職給付引当金の増加額	353
売上債権の減少額	10,916
棚卸資産の減少額	3,821
仕入債務の減少額	8,182
その他	57
小計	14,342
利息及び配当金の受取額	49
利息の支払額	906
法人税等の支払額	3,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	8,904
投資有価証券の取得による支出	1,631
その他	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の減少	2,634
長期借入による収入	4,714
長期借入金の返済による支出	3,070
自己株式の取得による支出	88
配当金の支払額	626
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,705
現金及び現金同等物に係る換算差額	77
現金及び現金同等物の減少額	2,222
現金及び現金同等物の期首残高	12,217
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,995

中間貸借対照表

(平成13年9月30日現在)

(百万円)

資産の部	
流動資産	79,141
現金・預金	6,903
受取手形	2,266
売掛金	30,674
製品	10,274
仕掛品	3,868
原材料・貯蔵品	4,023
短期貸付金	3,612
前払費用	88
短期繰延税金資産	1,885
未収入金	15,863
前渡金	0
その他の流動資産	63
貸倒引当金	384
固定資産	44,666
(有形固定資産)	(8,145)
建物	3,672
構築物	439
機械装置	1,727
車輛運搬具	4
工具器具備品	1,150
土地	1,131
建設仮勘定	19
(無形固定資産)	(407)
諸施設利用権	26
ソフトウェア	381
(投資等)	(36,113)
投資有価証券	4,160
子会社株式	18,441
長期貸付金	10,191
敷金	799
長期繰延税金資産	2,145
その他の投資	375
貸倒引当金	1
資産合計	123,808

負債の部	
流動負債	28,465
支払手形	13,860
買掛金	6,211
短期借入金	4,900
未払金	189
未払費用	3,087
未払法人税等	11
前受金	88
預り金	93
その他の流動負債	23
固定負債	34,059
社債	20,000
転換社債	9,998
退職給付引当金	3,718
役員退職慰労引当金	184
預り保証金	157
負債の部計	62,524
資本の部	
資本金	20,881
法定準備金	22,951
資本準備金	21,103
利益準備金	1,847
剰余金	18,132
任意積立金	17,678
固定資産圧縮積立金	78
別途積立金	17,600
中間未処分利益	454
(うち中間損失)	(359)
その他有価証券評価差額金	680
自己株式	1
資本の部計	61,283
負債・資本合計	123,808

中間損益計算書

(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)

(百万円)

(経常損益の部)

営業損益

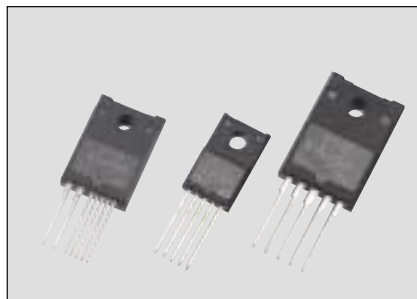
営業収益	
売上高	57,452
営業費用	
売上原価	49,121
販売費及び一般管理費	6,289
営業利益	2,041

営業外損益

営業外収益	455
受取利息及び配当金	196
雑収入	258
営業外費用	887
支払利息	303
雑損失	583
経常利益	1,609

(特別損益の部)

特別利益	1
貸倒引当金戻入益	1
特別損失	2,520
投資有価証券評価損	2,119
子会社貸倒引当金繰入損	383
固定資産処分損	18
税引前中間損失	910
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等調整額	32
過年度未払法人税等戻入額	529
中間損失	359
前期繰越利益	902
自己株式消却額	88
中間未処分利益	454



テレビ電源用レギュレータIC



通信機器用直流電源装置

株式の状況

会社が発行する株式の総数	2億5,700万株
発行済株式の総数	125,457,910株
株主数	19,600名

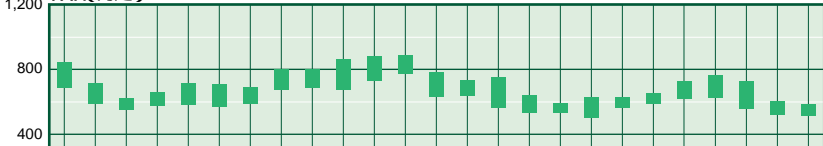
(注) 発行済株式の総数は、転換社債の転換により1,044株増加しましたが、自己株式の消却150,000株を実施したため、148,956株の減少となっております。

大株主

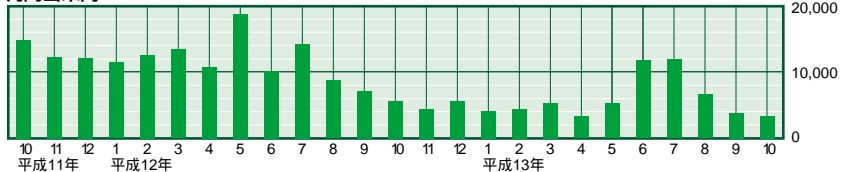
株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,986千株	7.16%
株式会社あさひ銀行	6,103千株	4.86%
東洋信託銀行株式会社(信託勘定A口)	5,346千株	4.26%
三菱信託銀行株式会社(信託口)	4,425千株	3.52%
朝日生命保険相互会社	3,428千株	2.73%
日本興亜損害保険株式会社	2,805千株	2.23%
株式会社日本興業銀行	2,748千株	2.19%
インターナショナルレクティファイアー コーポレーション	2,500千株	1.99%
年金信託受託者中央三井信託銀行株式会社2口	2,473千株	1.97%
投資信託受託者中央三井信託銀行株式会社	2,375千株	1.89%

株価推移

(円) 株価(月足)



月間出来高

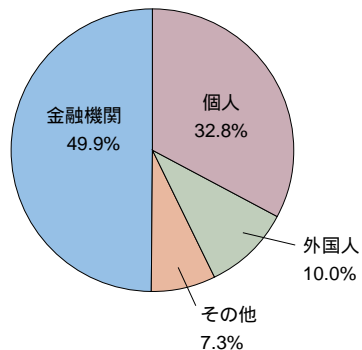


転換社債の状況

第1回無担保転換社債

- 発行日 / 平成7年10月23日
- 社債残高 / 9,998,000,000円
- 転換価額 / 957円
- 転換率 / 0.01%

所有者別分布状況



会社の概要

商号	サンケン電気株式会社 (Sanken Electric Co., Ltd.)
本社	埼玉県新座市北野三丁目6番3号
設立年月日	昭和21年9月5日
資本金	20,881,273,912円
従業員数	1,432人
主要取扱商品	半導体部門 ハイブリッドIC、モノリシックIC、ホールIC、トランジスタ、MOSFET、サイリスタ、整流ダイオード、ショットキバリアダイオード、発光ダイオード、冷陰極放電管、スイッチング電源、トランス 電源機器部門 無停電電源装置、モータ制御用インバータ、直流電源装置、高光度航空障害灯システム、各種電源装置
事業所	川越工場 〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂大野原677番地 新座工場 〒352-0005 埼玉県新座市中野一丁目13番19号 東京事務所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル 大阪支店 〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎二丁目12番7号 梅田第一ビル 札幌 / 仙台 / 名古屋 / 金沢 / 広島 / 九州 / 高松

役員

(平成13年9月30日現在)

代表取締役社長	森田 雄次
代表取締役副社長	安西 隆夫
専務取締役	石橋 仁
専務取締役	関根 宏人
常務取締役	名小路明之
常務取締役	今泉 清
常務取締役	江角 輝夫
取締役	寺嶋 隆美
取締役	福嶋 孝裕
取締役	秋山秀次郎
取締役	番作 勲
取締役	常盤 勲
取締役	辻本 直治
常任監査役(常勤)	松井 慶人
監査役(常勤)	今井 清兼
監査役	浅岡 貞夫

主要連結子会社

石川サンケン(株)
山形サンケン(株)
鹿島サンケン(株)
福島サンケン(株)
サンケン トランスフォーマー(株)
アレグロ マイクロシステムズ インク
ピーティー サンケン インドネシア
韓国サンケン(株)
サンケン パワー システムズ(ユーザー)リミテッド

株 主 メ モ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告いたします。
配当金受領株主確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部（証券代行事務センター） 〒168-0063 TEL(03)3323-7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店出張所
公告掲載紙	日本経済新聞

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

SanKen

サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号
TEL(048)472-1111

URL: <http://www.sanken-ele.co.jp>